

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2025
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・永田範 正・丸木美花・杉本清隆・大野元毅	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。 1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。 座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々で能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしいていく。 修了発表会でフルコーラスの楽曲を作ることを目標とする。									
【科目の概要】									
作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「作曲ゼミ（週2回）」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」の7つの授業で構成される。 下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。 作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。									
【到達目標】									
A. コード進行を作成できる B. メロディを作成できる C. 楽曲のミックスができる D. 楽曲のアレンジができる E. フルコーラスの楽曲を作成できる									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日より担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 E	一人で1 コーラスの楽曲を作成できる		講師の手を借りて1 コーラスの楽曲を作成できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
【教科書】									
授業内で使用する映像や動画。実演奏。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はループリック評価に基づき、学習した楽器のまとめを1 4、1 5回目にて授業内発表を行う。 これを60%(知識のほかに感想・思考・自分の作品にどう活かせるかを発表させて評価する) 授業後に提出するレポートや、主に学習に取り組む態度を評価し平常点40%とする。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

